

前回小委員会（第 1 回）でのご意見及び対応

1 兵庫県の自動車排出ガス対策について

委員名	ご意見	対応
近藤委員	運行規制に伴う自動車の買い替えについて、規制対象となる自動車の最新規制適合車への代替に対する特別融資等の支援制度を受けた 312 台の割合はどの程度か。	運行規制の対象となる県内車両数は、平成 18 年度末と比べて平成 27 年度末は 11,904 台減少しており、これに対し支援制度を受けた 312 台の割合は 2.6%となる。

2 兵庫県の大気環境濃度予測方法（案）について

委員名	ご意見	対応
小林委員	拡散計算で地形や建物を評価しているか。拡散計算して、合わない場合は補正しているのみか。	<p>「窒素酸化物総量規制マニュアル」及び「浮遊粒子状物質汚染予測マニュアル」に準じたモデルでは、構造物等、濃度に影響を及ぼす要因を考慮することが難しく、拡散計算した後に測定局のデータで補正している。</p> <p>今回、大気環境濃度予測モデルでは、兵庫県及び神戸市等が設置している測定局の結果を用いて補正している。</p> <p>また、平成 30 年度及び平成 32 年度の道路沿道における予測は、国の環境基準確保の評価手法と同様、高濃度となる地区を極力見落とさないようにするため、拡散計算による計算値に、通常の高濃度推計において適用するよりも大きな値を加算し、加算後の値で評価する。</p>
近藤委員	大気環境濃度予測方法について、大気汚染物質濃度は道路沿道では建物等の影響を非常に受け、また測定データがないため、測定局とは補正の方法が違う可能性があり、予測できるか疑問である。	